

日米投信週次概況(2024年3月6日週)

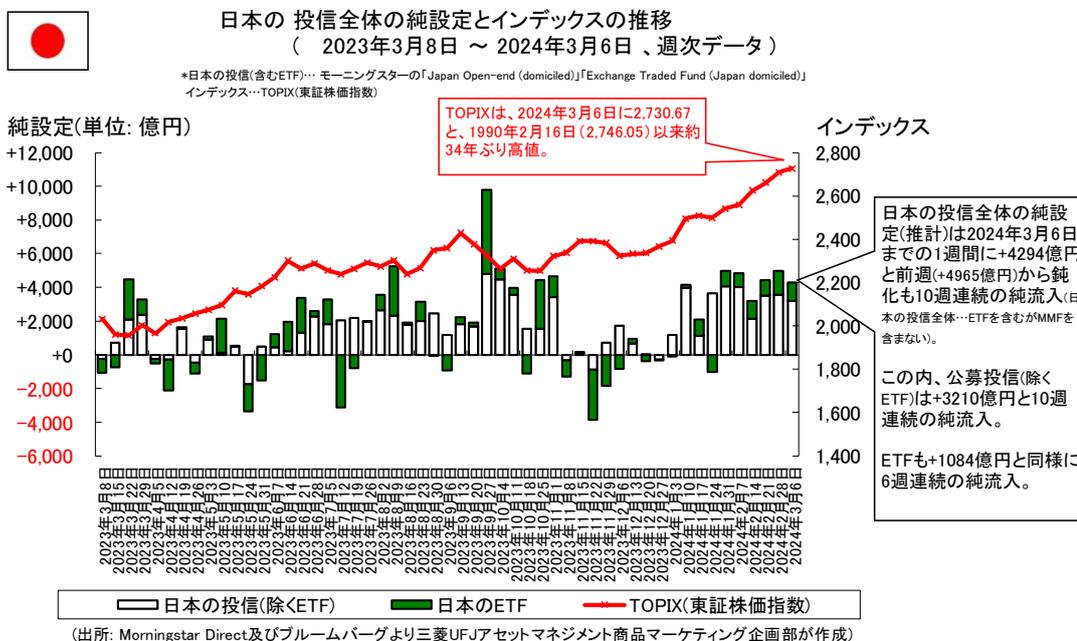
日本では北米株が純流入トップ、2024年は既に約1.3兆円！
 米国では債券が3年ぶり大きな純流入！ ハイテク株の巨額純流出はインデックス・リバランスでのキャピタルゲイン発生を回避する為

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部 松尾健治 (kenji-matsuo@am.mufg.jp)
 窪田真美 (mami1-kubota@am.mufg.jp)

- 日本では北米株が純流入トップ、2024年は既に約1.3兆円！ 日経平均株価が史上初の4万円台突破のなか、日本株(大型ブレンド)は純流入鈍化.....p.1
- 米国では債券が3年ぶり大きな純流入！ ハイテク株が過去2番目の巨額純流出！ これはインデックス・リバランスでのキャピタルゲイン発生を回避する為.....p.3

●日本では北米株が純流入トップ、2024年は既に約1.3兆円！
 日経平均株価が史上初の4万円台突破のなか、日本株(大型ブレンド)は純流入鈍化

日本の投信全体の純設定/資金フロー(推計)は2024年3月6日までの1週間に+4294億円と前週(+4965億円)から鈍化も10週連続の純流入(日本の投信全体...ETFを含むがMMFを含まない~Morningstar Directより)。この内、**公募投信(除くETF)は+3210億円と10週連続の純流入**。ETFも+1084億円と同様に6週連続の純流入となった。



年始から純流入が続く公募投信(除くETF)について最新3月6日週の純設定額を分類別に見る。純流入1~5位は北米株、グローバル株、インド株、日本株大型ブレンド、グローバル株-日本を除く。1位の北米株は+1710億円と、9週連続で1000億円超(テークを越れる2009年5月から最長)となり、年初来では既に1.3兆円に達した。昨年2023年は年間で約1.7兆円だったが、今年はこれを上回るペースで増えており、3月6日時点で昨年1年間の75%を超えた。

日経平均株価は、2024年3月4日に40,109.23円と史上初の4万円台突破となるなか、4位日本株大型ブレンドは

+176億円と3週連続の純流入も鈍化傾向(日本では日本株高時に利食い投信解約が多い〜2023年の年間については、2023年12月25日付投信調査レポートNo.406「米国

の2023年投信純流入トップはS&P500ファンド！ブラックロックとバンガードとフィデリティが覇巻!」〜 https://www.am.mf.jb/report/investigate/report_31125.pdf)。 **引き続きNISA/少額投資非課税制度が大きな**

買い材料(2024年1月29日付日本版ISAの道 その395「日本の1月効果と英国の4月効果の際にNISAとISA?」〜ファンドマネジャーやストラテジストが調査・分析をする世界のファンドフローと規制・制度〜)

https://www.am.mf.jb/report/investigate/ohim_240128.pdf)o

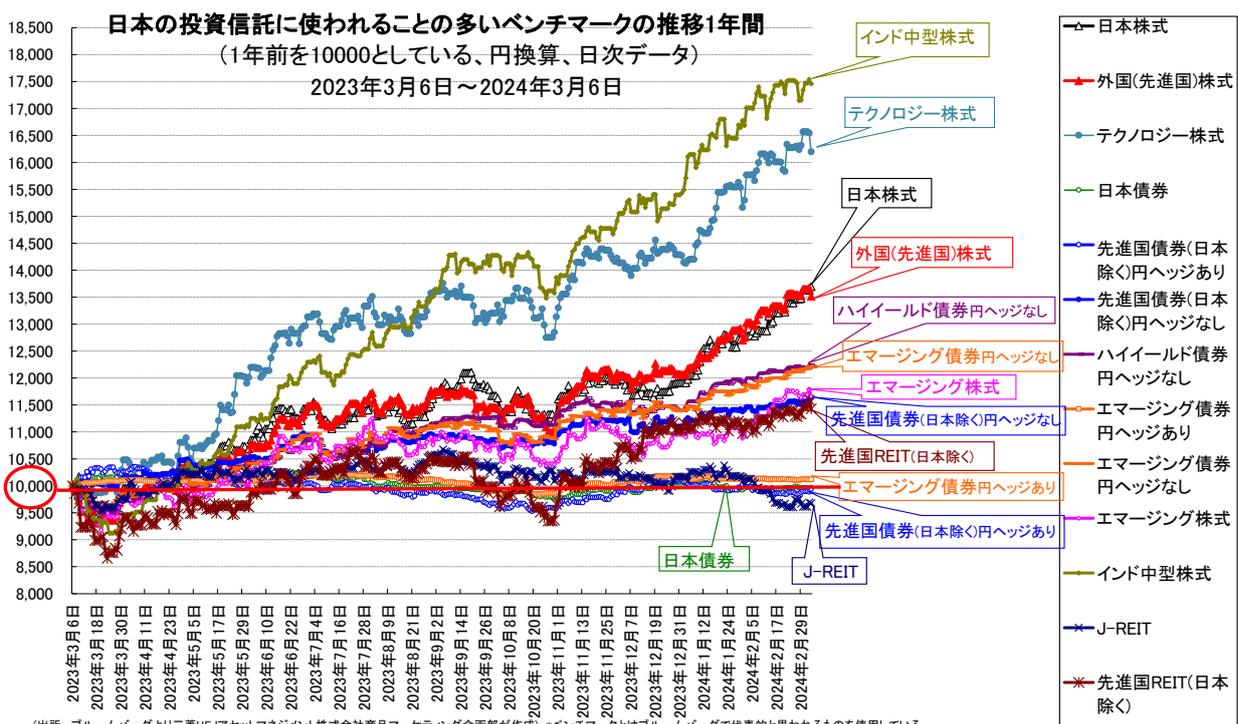
日本の投信の分類別週間純流出(純流入の大きい順) 2024-03-06現在

***ETF・MMFを含まない。週次推計の為、月次のものと異なる。**

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
1	North America Equity	+170,883	+143,258	+561,385	17,093,363	北米株
2	World Equity	+104,625	+116,658	+333,803	22,862,123	グローバル株
3	India Equity	+46,766	+40,787	+157,529	2,651,060	インド株
4	Japan Large-Cap Blend Equity	+17,652	+28,920	+90,339	9,698,938	日本株大型ブレンド
5	World ex-Japan Equity	+17,068	+27,525	+101,078	9,704,939	グローバル株-日本を除く
6	Moderately Aggressive Allocation	+12,275	+16,565	+44,815	3,786,691	モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション
7	Conservative Allocation	+5,538	+1,953	+6,899	2,203,968	コンサバティブ・アセットアロケーション
8	Japan Large-Cap Value Equity	+5,441	+4,957	+19,853	325,593	日本株大型バリュー
9	World ex-Japan Bond	+4,771	+3,160	+20,317	2,867,913	グローバル債-日本を除く
10	US Bond	+4,365	+5,217	+19,666	440,494	米国債
84	World REIT	-3,118	-2,285	-6,464	1,755,524	グローバルREIT
85	Japan REIT	-3,200	-4,522	-16,269	2,257,025	日本REIT
86	Other Allocation	-3,325	-4,402	-13,272	752,781	その他アロケーション
87	US REIT	-3,563	-5,252	-8,806	2,336,540	米国REIT
88	World Other Equity	-4,075	-3,452	-14,115	921,574	その他グローバル株
89	Risk Control Allocation	-5,221	-5,547	-17,535	1,319,677	リスク・コントロール・アセットアロケーション
90	North America Equity - JPY Hedged	-5,368	-4,948	-17,917	946,620	北米株-円ヘッジ
91	Japan Small/Mid-Cap Growth Equity	-6,099	-1,739	-14,155	840,966	日本中小型グロース株
92	World Equity - JPY Hedged	-9,043	-8,989	-35,773	1,424,322	グローバル株-円ヘッジ
93	Japan Small/Mid-Cap Value Equity	-18,037	+2,036	-9,445	1,154,758	日本中小型バリュー株
全93分類の合計		+320,968	+355,708	+1,241,599	117,502,920	
指数名	リターン※ 最新週 (%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)			
TOPIX (東証株価指数)	+2.10	+1.84	+7.13			
S&P500	+0.73	+1.79	+2.36			
MSCI ワールド	+1.07	+1.58	+2.99			

(出所: Morningstar Direct及びブルームバークより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。



●米国では債券が3年ぶり大きな純流入！ ハイテク株が過去2番目の巨額純流出！ これはインデックス・リバランスでのキャピタルゲイン発生を回避する為

米投信全体の純設定/資金フロー(推計)は、2024年3月6日までの1週間に+165億^{ドル}/約2.4兆円と4週連続の純流入(米投信…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。この内、**米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは-7億^{ドル}/約1092億円と4週連続の純流出も鈍化傾向**。一方、**ETFは+172億^{ドル}/約2.5兆円と4週連続の純流入となった**(継続的なミューチュアルファンドの純流出とETFの純流入にはミューチュアルファンドからETFへのコンバージョン/転換も寄与…2023年11月27日付日本版ISAの道 その391「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増！」～

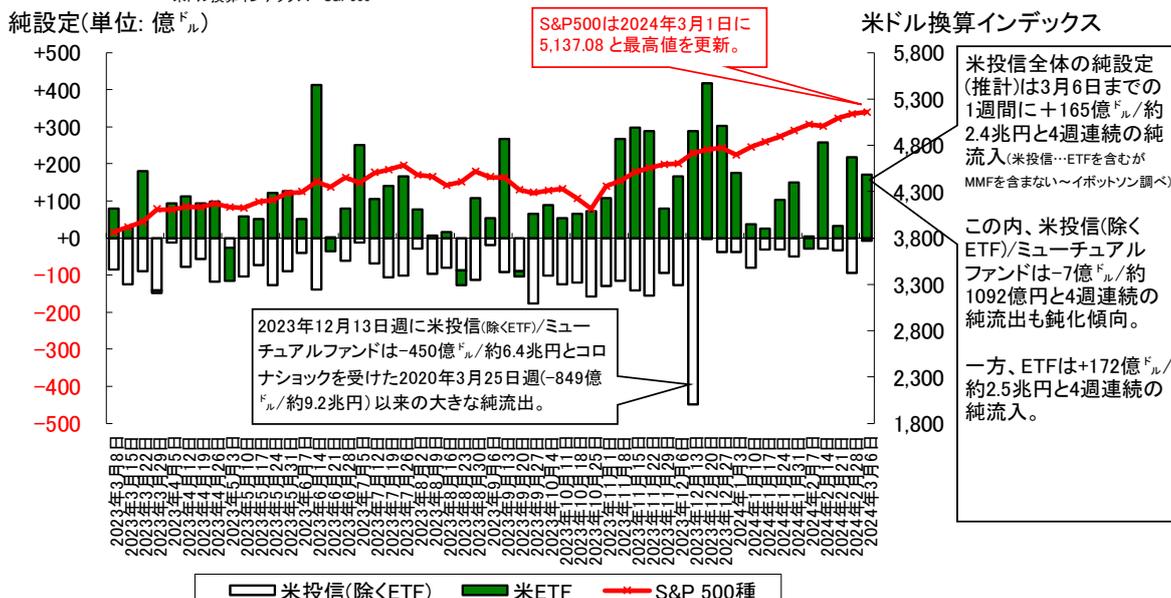
http://www.ammf.jp/report/investigate/ohsm_231127.pdf)



米国の投信全体の純設定と米ドル換算インデックスの推移
(2023年3月8日～2024年3月6日、週次データ)

*米投信(ETFを含むがMMFを含まない)…モーニングスターの「US Open-end & ETF ex MM ex FoF」。

米ドル換算インデックス…S&P500



(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

*米モーニングスターが発表する週次の純設定額(推計)は、算出時点で入手できる投信による推計であり、随時更新される(本レポートは作成時点の最新値を使用)。

2024年3月6日週の投信全体純設定額を分類別に見る。**米国株は+10億^{ドル}と前週(+33億^{ドル})から7割減**。セクター株は-24億^{ドル}と2週ぶり、コモディティは-14億^{ドル}と6週連続の純流出。一方、外国株は+2億^{ドル}と6週連続純流入。**債券は+174億^{ドル}と12週連続の純流入で2021年2月3日週(+200億^{ドル})以来約3年ぶりの大きな純流入**。

より投資対象を細かく見る。米投信(含むETF、除くMMF)の分類別純設定額は次頁の通り。**純流入1～3位は社債、米國中長期国債(4-6年)、米國中長期コアプラス債**。一方、純流出1～3位は米国テクノロジー株、商品・フォーカス、米国大型バリュー株。4位のデジタル資産は+22億^{ドル}/約3270億円と20週連続の純流入で加速傾向。ビットコイン現物ETF(スポット・ビットコインETF)人気が続く(2024年2月26日付投信調査レポートNo.410「米国では、日本株ファンド(ETF)人気が続く中、ビットコイン現物ETF(スポット・ビットコ

インETF)も人気！」～ http://www.ammf.jp/report/investigate/report_240226.pdf)

日本株は最新2024年3月6日週に+1.5億^{ドル}/約222億円と8週連続の純流入も直近8週で最も小さな純流入。1月17日週に+8億^{ドル}/約1200億円と、昨年2023年6月14日週(+11億^{ドル})以来7か月半ぶりの大きな純流入となったが、**足元で減速傾向**。その内、**日本株ETFは+1.5億^{ドル}と8週連続の純流入**(1月17日週に+8億^{ドル}/約1200億円と、昨年2023年6月14日週+11億^{ドル}以来7か月半ぶりの大きな純流入)。日本株投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは+300万^{ドル}と、小幅ながら8週連続の純流入となった。

米投信の分類別週間純流出(純流入の大きい順)

2024-03-06現在

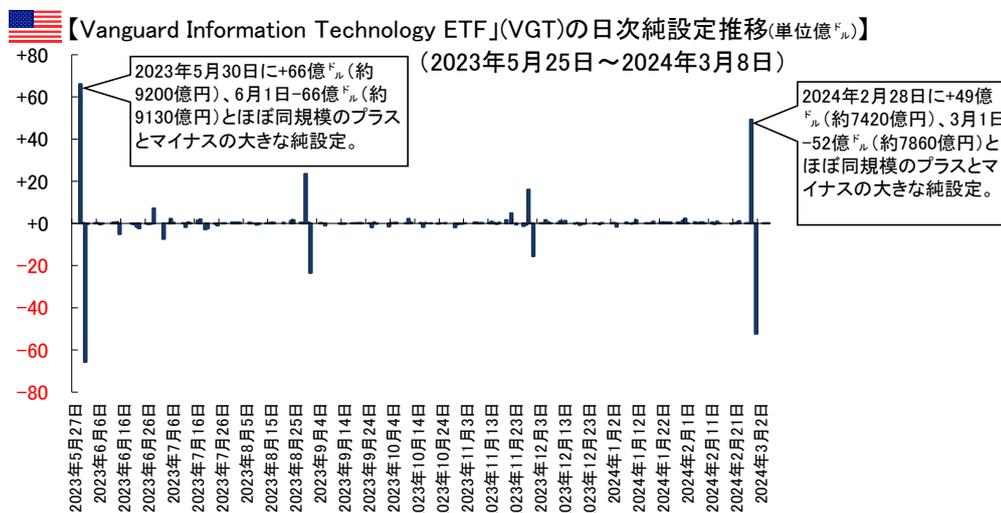
***ETFを含むがMMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。**

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
上位 10 分類 ↑	1 Corporate Bond	+3,466	-507	+2,616	157,934	社債
	2 Intermediate Government	+3,178	+2,433	+6,654	196,498	米国中長期国債(4-6年)
	3 Intermediate Core-Plus Bond	+3,035	+899	+6,498	580,151	米国中長期コアプラス債
	4 Digital Assets	+2,223	+1,451	+7,177	72,829	デジタル資産
	5 Intermediate Core Bond	+2,111	+1,557	+7,495	636,656	米国中長期コア債
	6 Large Blend	+2,034	+1,419	+13,067	3,918,400	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
	7 Foreign Large Blend	+1,535	+295	+3,914	950,628	外国大型ブレンド株
	8 Real Estate	+1,320	-53	+1,258	89,750	米国REIT
	9 Ultrashort Bond	+1,287	+679	+3,095	293,960	米国超短期債
	10 High Yield Bond	+1,165	-370	+1,435	266,881	米国ハイイールド債
↓	32 Japan Stock	+151	+164	+914	37,745	日本株
下位 10 分類	112 Foreign Large Growth	-386	-277	-1,040	381,538	外国株大型グロース株
	113 Inflation-Protected Bond	-458	-13	-704	111,647	米国インフレ連動債
	114 Commodities Broad Basket	-470	-221	-684	22,454	商品・バスケット
	115 Diversified Emerging Mkts	-512	-25	-175	533,960	グローバル・エマージング株
	116 Emerging Markets Bond	-562	-164	-1,259	54,640	グローバル・エマージング債米ドル建て
	117 Financial	-626	-321	-1,552	71,311	金融株
	118 Short Government	-901	-1,314	-2,920	71,130	米国短期国債
	119 Commodities Focused	-909	-366	-2,633	114,933	商品・フォーカス
	120 Large Value	-1,233	+477	-1,882	1,334,216	米国大型バリュー株
	121 Technology	-4,436	+5,630	+3,457	318,733	米国テクノロジー株
		全121分類の合計	+16,472	+12,464	+51,787	18,597,450
	指数名	リターン※ 最新週 (%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
	TOPIX (東証株価指数)	+2.10	+1.84	+7.13		
	S&P500	+0.73	+1.79	+2.36		
	MSCI ワールド	+1.07	+1.58	+2.99		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。

純流出最大は米国テクノロジー株である。3月6日週に米国テクノロジー株は-44億ドル/約6523億円と、2009年6月からの週次ベースで2番目に大きな純流出(最大は2023年6月7日週-77億ドル)。ただ、これは投資家がハイテク株をパニック売りしたものではない。同分類中、残高最大「Vanguard Information Technology ETF」(ティッカー:VGT)という1本のETFの純流出によるものだ。VGTは3月1日の1日に-52億ドルと、純資産611億ドル(約9兆円~2024年1月末)に対して約8.5%に相当する純流出があった。



(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

指数見直しに伴うリバランスで、VGTのポートフォリオ内に発生するキャピタルゲイン課税(キャピタルゲイン分配/キャピタル・ディストリビューション/capital gains distribution)をバンガードが回避すべく対応したと思われる(同ETFのベンチマークは「MSCI US Investable Market Information Technology 25/50 Index」)。
 VGTの日次フローを見ると、3月1日-52億^{ドル}/約7860億円の2日前、2月28日に+49億^{ドル}/約7420億円と、ほぼ同規模のプラスとマイナスの大きな純設定がある。昨年2023年も同様、5月30日に+66億^{ドル}/約9200億円、6月1日に-66億^{ドル}/約9130億円という大きなプラスとマイナスがあった。8月末と11月末も同様。MSCIは指数の見直しを四半期(2、5、8、11月)で実施、最新2024年2月29日に株式インデックスの組み入れ銘柄変更を行っている(MSCI~<https://www.msci.com/documents/10199/c151ba14-be95-f1d0-7d2e-4e7a5ce5dc32>)。

ETFではリバランスの入れ替えで除外する現物証券を、売却でなく現物交換(解約)/in-kind redemptionして、キャピタルゲインの発生を最小限に抑える事をする(2023年11月27日付日本版ISAの道 その391「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増！ 米国はミューチュアルファンド・コンバージョン(転換)が寄与〜米国と日本のアクティブファンドとパッシブ(インデックス)ファンド〜」~ https://www.am.mufg.jp/report/investigate/column_391127.pdf)。このVGTも、リバランス実施前に、バンガードが指定参加者/authorized participant/market makerに依頼、VGTの大量の現物設定をし、1~3営業日後に現物交換する事で、キャピタルゲイン課税を出来る限り回避していると思われる(2018年8月1日付etf.com「Behind Vanguard's 'Heartbeat' ETF Flows」~ <https://www.etf.com/sections/features-and-news/behind-vanguards-heartbeat-etf-flows>)。「ETF業界では一般的に行われている。リバランス日に大規模資金流入が反転するというエビデンスは、ほぼすべての大手資産運用会社のETFにみられる」という(2017年12月18日付FACTSET「The Heartbeat of ETF Tax Efficiency」~<https://insight.factset.com/the-heartbeat-of-etf-tax-efficiency>)。

以 上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「 <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/> 」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部

松尾 健治(kenji-matsuo@am.mufg.jp)、

窪田 真美(mami1-kubota@am.mufg.jp)。

本資料に関してご留意頂きたい事項

■本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。

■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

本資料中で使用している指数について

■TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

■MSCI ワールド インデックスに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会